

年度 2009 学期 後期	曜日・校時	金・4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 II (Comprehensive English II)			
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等)	Td	科目分類 外国語科目(英語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 橋本 高明 /Eメールアドレス: /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: /オフィスパワー: 金曜日昼休み				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 4) 各段落中の topic sentence を同定する。 5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。 授業方法: 各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落について topic sentence を見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。 授業到達目標: 上記「授業のねらい」の技能(1)~(5)について、担当教員の評価で 60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 第1回 授業の内容・方法の説明、penmanship プリテスト、文法プリテスト 第2回 Unit 1: Bioplastics 第3回 Unit 2: Dandelions 第4回 Unit 3: Superbug Produces Ethanol 第5回 Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells 第6回 Unit 7: Wetlands in the Netherlands 第7回 Unit 9: Aluminum and the Environment 第8回 復習1、中間試験 第9回 Unit 16: Super Rice 第10回 Solar Box Cookers 第11回 Information Superhighway (1) 第12回 Information Superhighway (2) 第13回 Information Superhighway (3) 第14回 復習2 第15回 復習3、期末試験				
キーワード				
教科書・教材・参考書	教科書: Nishimoto, Fumio. <u>VOA Science for Today</u> . Tokyo: Kinseido, 1996. 参考書: 小野経男 『チャート式新英文法』 東京:数研究出版, 1990.			
成績評価の方法・基準等	この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)~(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも 60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については2回の筆記試験を通して評価を行う。成績は、原則として、2回の試験の評価を最終評価の80%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の20%とする。正当な理由なく4回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)	宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業にはかならず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類(あるいはその複写)を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を0点扱いとする。			